

6 月の保育のねらい 歓喜(つよくのびます)

- ・仏さまに守られて、どんな日でも元気に保育園にかよう。
- ・みんなに心配をかけないよう、体に気をつける。
- ・仏の子は誰とでも仲良くする。



ふじ・さくら・たんぽぽ組

- ・梅雨時の自然現象や小動物に興味・関心を持ち友達と一緒に楽しく遊ぶ。

ひまわり・れんげ組

- ・梅雨期の衛生面に注意しながら健康に過ごせるようにする。

<行事予定>

日	月	火	水	木	金	土
				1 衣替え	2	3
4 親子パン作り ・紙ひこうき とばし会	5 身体測定 (ふじ・さくら ・たんぽぽ)	6 あそびにおいで 身体測定 (ひまわり)	7 身体測定 (れんげ)	8 歯科検診 (13:00~)	9 布団・ズック 持ち帰り	10 保育参観 (ふじ・さくら ・たんぽぽ) PMサッカー大会 (ふじ希望者)
11	12	13 絵本デー (ふじ・さくら)	14 避難訓練	15 本との素敵な 出会い (ふじ組)	16 布団持ち帰り	17
18 父の日	19 集金袋持ち帰り 検尿容器 持ち帰り	20 あそびにおいで 検尿締め切り	21 愛情弁当 銀河鉄道 ・観劇(ふじ)	22 検尿予備日	23 検尿予備日 布団持ち帰り	24
25	26	27 集金引き落とし	28	29 誕生会	30 布団持ち帰り	



給食献立表 6月分

1日 (木)	白ウインナー 回鍋肉 マロニーサラダ
2日 (金)	そうめん汁 ちくわ磯辺天ぷら ブロッコリーサラダ
5日 (月)	ハムカツ ニラもやし炒め 春雨の酢の物
6日 (火)	枝豆シューマイ 親子煮 ごぼうサラダ
7日 (水)	白身魚の立田揚げ しらたき炒め ハム野菜サラダ
8日 (木)	ソーセージドッグ 焼きそば いんげんのごまマヨ和え 黄桃缶
9日 (金)	かき玉汁 肉ギョーザ ポテトサラダ
12日 (月)	チーズのせハンバーグ焼き こんにゃく金平 玉ねぎのマリネ ミニゼリー
13日 (火)	白身魚の味噌マヨ焼き インディアンポテト 中華風酢の物 みかん缶
14日 (水)	豚肉の生姜焼き 割り干し大根煮 ツナ野菜サラダ
15日 (木)	チキンナゲット 焼きビーフン ナムル
16日 (金)	じゃが芋ポタージュ いか磯辺ドーナッツフライ マカロニサラダ
19日 (月)	ハムステーキ 肉もやし炒め わかめの酢の物
20日 (火)	鶏団子 キャベツのスープ煮 スパゲティーサラダ
21日 (水)	愛情弁当
<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>誤嚥事故防止のため、ミニトマトやブドウ等の球状の食品は、柔らかくしたり、切ったりしてお弁当に入れるようお願いします。</p> </div>	
22日 (木)	ししゃもフライ 肉ごぼう ハム玉子サラダ
23日 (金)	カレー汁 福神漬け コロコロサラダ バナナ
26日 (月)	ヒレカツ 炒り玉子 れんこんサラダ
27日 (火)	揚げたこ焼き 肉じゃが 春雨サラダ
28日 (水)	豚団子 五目豆煮 梅肉サラダ パイン缶
29日 (木)	ミートスパゲティー オムレツ ツナ野菜サラダ ゼリー
30日 (金)	鯖の塩焼き ジャーマンポテト 棒々鶏サラダ

* 29日は誕生会です。ミートスパゲティーを作りますので、主食は要りません。

* 行事食の日を含め、お箸とコップは毎日お持ちください。

* 材料納入等、都合により献立を変更することがあります。

食べ物を噛むことは歯の大きな役目の一つです。最近では、やわらかい食べ物が増えて噛む回数が減っていると言われていています。よく噛んで食べることは、食べ物を飲み込みやすくするだけでなく、脳の活性化やあごの発育を促します。また、噛むことで唾液がたくさん出るようになり虫歯や肥満を予防するなど、健康に役立つ色々な効果があります。食事やおやつには噛みごたえのあるものを積極的に取り入れ、よく噛んで食べ、食べた後は歯磨きを忘れないようにしましょう。

《お願い》

- 6月12日(月)から裸足で過ごします。ズックは園で預かりますので、必ず洗ってお持たせください。(避難時、体操教室の時に使用します。)
- 暑くなってきましたので、必ず当日の朝炊いたご飯をお持たせください。

【たんぽぽ組より】

- 6月から昼食の後歯みがきをしますので、歯ブラシ(名前を書いて)をお持たせください。

【ふじ組・さくら組・たんぽぽ組より】

- 尿検査の容器は6月20日(火)の午前9時30分頃までに提出してください。締め切りは20日(火)ですが、22日(木)・23日(金)は予備日としますので、20日(火)の朝に尿が取れなかった場合は提出してください。(ふじ組・さくら組・たんぽぽ組のみ) ひまわり組・れんげ組は尿検査はしません。
- 降園後、園庭で遊ばれましたら使った物は片付けて帰ってください。(水遊び・砂遊びはしないでください。) また、安全の為に必ず子供さんを見守る・または一緒に遊んであげるようにしてください。お願いします。

【歯科検診について】

- 歯科検診は6月8日(木)午後1時からです。歯科検診の日に病気等で欠席されて、受診できなかったお子さんは、後日、お家の方から服部歯科医院さん(筋生田町)にて受診されますようお願いいたします。



お部屋の中では…

ふじ組



新しい環境にも慣れ、落ち着いて生活出来るようになってきました。当番活動も積極的に頑張っています。過ごしやすい季節になり、園庭ではお友達と鬼ごっこや虫探しをして走り回ったり、草花を使っておままごとをして遊んでいます。また、室内では集団遊び（椅子取りゲーム・ジャンケンピラミッド）をしたりしてゲームの楽しさがわかるようになってきています。まだ悔しくて泣いてしまう事もありますが、お友達と一緒にたくさん遊んで少しずつ成長出来るよう見守ってまいります。

さくら組



元気一杯のさくら組の子ども達は外遊びが大好きです。砂場でままごとをしている時に数名の子がヨモギの葉で色水遊びを始めた事がきっかけでクラス全体に広まり、散歩へ行き草花集めをして色水遊びをしたり、あさがおを育ててあさがおの花でも色水をしてみよう！という事で今から楽しみにしています。あさがおの水やりのお世話や給食当番等の当番活動も始まり、初めての給食のバイキングにも挑戦しています。さくら組での新たな経験を楽しく意欲的に取り組み、成長につながって欲しいと思います。

たんぽぽ組



園庭に出ると自分の好きな遊びを見つけて遊ぶたんぽぽ組さん。三輪車に乗ってスコップを載せて『お仕事行ってくるね』とごっこ遊びをしたり、バケツを持ってダンゴムシを探しては捕まえたり、砂場に水を流して水の流れや変化を楽しんだりして時間一杯遊びを楽しんでいます。

気温が高くなってきているので、水分補給をしながらこれから泥遊びや色水遊びも楽しんでいきたいと思います。

ひまわり組



ひまわりぐみさんになってから登園後に荷物の片付けをしたり、手洗いやズボンの着脱等自分でやってみようとする頼もしい姿が見られるようになってきました。遊びの面では、お友達と一緒に遊ぶ事にも興味を持ち始め、風呂敷のマントを身に着けヒーローごっこをしたり、ソフト積木の電車でお出掛けごっこをしたり、戸外では一緒に草花を摘んだりカエルを見たりする姿が見られます。まだ自分の思いを上手く伝えられない事が多いですが、好きな遊びを楽しみながら、お友達と関わっていけるようにしていきたいと思います。

れんげ組

(1歳児)



1歳児クラスのお友達や担任にも慣れてきたようで落ち着いて遊べるようになってきた子ども達。園庭（人工芝生）に出ると土いじりをする子、ほうきを持ち出し持ち歩く子、大型遊具で遊ぶ子とそれぞれお気に入りの遊びを見つけ時間一杯楽しんでいます。外に出る時は帽子を被る習慣も身に着いてきたようで帽子についての自分のマークを見つけ頭に乘っける姿も見られます。暑くなってくるので帽子を被る事、水分補給をする事に気をつけて6月も元気に遊べるようにしたいです。

れんげ組

(0歳児)



新しいお友だちも増え、にぎやかな雰囲気でも過ごしています。保育士と好きな遊びを見つけて楽しんだり、おやつや給食にも少しずつ慣れて「まんま食べようか？お腹空いたね」と声を掛けると「まんま！」と声に出して笑顔になったりニコニコしながら「あーん」と口を開けて安心した様子で食事を進められるようになってきました。

そして初めてカートに乗ってみんなで一緒に散歩に出かけ、草花や景色を眺めて楽しむ事が出来ました。今月も天気の良い日は、戸外の心地良さを感じられるよう散歩やテラスで過ごす機会を持ちたいと思います。保育士や友だちと一緒に安心して過ごせるようにスキンシップを深めながらゆったりと関わってまいります。

子どもの成長

保育士という職業について早〇〇年……。気が付いてみれば、私のまわりには若い可愛い先生たちが多くなってきました。そんな若い先生を見ていると、自分の若かりし頃を思い出し私が新卒の時は、右も左も分からなくてとにかく自分の事で精一杯で毎日必死でした。今振り返ると今まで出会った子どもたち、先生方、保護者の皆さん……。本当にいろいろな人から学ぶ事ができ、今の自分がいます。そう思うと感謝の気持ちでいっぱいです。

新卒の頃は、いろいろな失敗や経験をしましたが、この失敗に気が付きがあったからこそその後の私は、“いつも子どもの目線の保育”をモットーに子どもたちと接してきました。そうすることで目の前の子どもが何を伝えようとしているのか、どんな思いを持っているのか、毎日一緒に過ごすことで見えてくるようになりました。合わせて“自分が子どもだったらどう思うのかな？”と考えると見えてくることもあります。

例えば子どもが毎日好きなキャラクターの顔が付いたTシャツをどうしても着たがったとします。大人としては、毎日同じ服を着ていく事に悩み、それが真夏で長袖だったら心配で半袖のTシャツを着させたいですね。しかし、“好きなキャラクターだからそのTシャツが着たい！”子どものそういう思いを受け止め、自分だったらどうされたら嬉しいかを考えるといろんな選択肢がでてきます。例えば、長袖しかなければ袖をめくって着せてあげる。一度着たいと言っているTシャツを着て外に出て暑いということを体感させるなど、“自分がその子だったら”と考えるのが子どもと接する中で一番子どもと上手に向き合え、気付かせてあげる良い手段だと思います。

子どもにいっぱい経験させてあげ、経験や失敗から学んでいく。大人が最初から手を出して成功に導くのではなく、自分で選択しそこから気づけるような子にしてあげたいです。私たちは、日々の保育の中で達成感を感じながら子どもたちの成長をサポートして、一人の子どもとしてではなく、一人の人間の“未来”へとつながるよう、一番成長する時期を大切にしていきたいです。

ふじ組 担任 岩田 雅代

